

# ダイアン チャ ルズ ブレスリン (元カトリック教徒、アメリカ合 国) (パ ト3 /3)

4.7

明:ダイアンが、彼女のイスラ ムへの 依、新しい人生、そしてアメリカへの祈りについて る。

目:[事新改宗者ムスリムの逸 女性](#)

より: ダイアンチャ ル

日05 Dec 2009

集日 06 Dec 2009

## イスラ ムへの私の旅

私がムスリムになりたい、と宣言が出来るようになる前に、クルア ンの勉 と探求には丸3年かかりました。服装や 、日常化していたデ トや 酒などの が 化するのを恐れていたのは かです。音 とダンスは私の人生の大きな部分を占めていましたし、ビキニやミニスカ トは当然のことでした。この当 私の地域でムスリムに会う 会はなく、 で一 ほどの所にあった当 その州唯一のモスクに、かろうじて英 の せる数人のムスリム移民がいただけでした。私は自分が考えているものを に行ってみようと金曜礼 を れたりしましたが、そのような にはスパイなのではないかというような疑念の を受けたものです。これはかつて、そして未だにある の事情のために多くのイスラ ムの集りで感じるものです。そこには私を助けてくれるアメリカ人ムスリムは一人もおらず、前述した通り移民の人々は皆、かなりよそよそしかったのでした。

私の人生のこのような局面において、私の父は癌で亡くなりました。私は彼のベッドのそばで文字通り、死の天使が彼の魂を引き いたのを目にしました。彼は恐怖の となり、 がその を って落ちました。彼と母の 方にとっての な暮らし、ヨット、カントリ クラブ、高 な などの全ては利子所得の 果でしたが、今や全てが わってしまったのです。

まだ はありましたが、私は突然、イスラ ムに早く入信したい、そして自分の生き方を  
えたいという欲望を感じました。そして人生が良いものであるために信仰するように  
育てられたことについて、 に探し たくはありませんでした。その まもなく私はエジ  
プトを れ、アラビア の言 の奇 と、明 な真 の 神は唯一の御方であられ、自存され、御 み  
なさらないし、御生れになられたのではなく、かれに比べ得る何者もないこと を通し  
、 くゆったりした旅をすることになったのです。

また、私をその宗教に最もひきつけたのは、人 の平等の概念でした。言者ムハンマド  
(彼に神のご慈悲と祝福がありますように) は、人々は の ようである つまり皆平等  
であり、最良の者とは最も敬虔な者である、と言われました。クルア ンでは、最良の  
者は、最も敬虔な者であると教わっています。敬虔さは、神のみへの恐れと を伴いま  
す。しかし に敬虔になる前に、神が であるのかを学ばなければなりません。そして神  
を知り、神を するのです。私は、アラビア で 示されたアッラ の御言 を むためにアラビ  
ア を い始めました。

クルア ンを学ぶことは、私の人生におけるあらゆる 面を えました。 や洋服や旅行など  
以前私が追求していた 世的 品は、もはや私を な欲望の に引き んだり出来ないのです  
。私は信者としてのよい生活をとてもしんでいました;が、ムスリムたちが言う通り、  
それはもはや私の心に深くとどまることなく、ただ手近な 所にあるだけでした。私は  
かつての友人や 戚を失うことを恐れませんでした。もし神が、彼らを近づけることを  
ばれるのならそうなるのでしょうが、私は神が多くも少なくもなく、私にちょうど必  
要なものをお与えになられることを知っていました。私は、神 いつも知っていたけれ  
ど、その名を知らなかった唯一 二のお方 の保 下において安全だったので、もう不安や悲  
しみ、また ぎ去ったことへの 悔もなどは感じていませんでした。

## アメリカへの祈り

私は全能の神に、全てのアメリカ人が な方法で、唯一の神の言 を受け取る 会を される  
ことを祈ります...アメリカ人のほとんどが、本当に正しいイスラ ム神学について知らさ  
れてはいません。大抵の 合重きが置かれるのは、人の行 に焦点がを当てる政治です。

しかし今や私たちを暗から光へと 導き出すために到来した、全ての 言者 の行 に注意を向ける が来たのです。沈滞状 にあるアメリカに暗 が蔓延り、そこに病 が がっているのは疑う余地もないことです。しかし真 の光は、人がイスラ ムの道に うことを ぶか ばないかに わらず、私たち全てに提供されます。そしてこれを阻止すること、あるいは他人がそれに うことを妨げるようなことは、更なる不幸へと くことでしょう。私は自分の国の健康な未来をととても 念しています。そしてイスラ ムについての更なる学 は、私の希望が叶えられる 会を高めることであることについて 信じています。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/110>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。